

領域9インフォーマルミーティング議事録

2009.9.25 17:00~18:20

於 熊本大学ZK会場

参加人数：40人程度

1 報告事項

- 1.1 今大会のプログラム編成
- 1.2 2010年年次大会(2010/3/20~23)までのスケジュール
- 1.3 領域代表・領域副代表 交代(2009/10~2010/9)

以上について当日の資料に基づいて報告がなされた。

2 協議事項

2.1 次々期世話人の推薦・承認

- 結晶成長分科
中田 俊隆 氏 (立命館大)
- 表面・界面分科
多田 朋史 氏 (東大院工)
江口 豊明 氏 (東大物性研)

上記3名が推薦され、承認された。

2.2 2009年年次大会におけるシンポジウム・招待講演

シンポジウム

3件のシンポジウムが提案された。(うち3は領域10主催)

1. 「分子狭窄系の物理」
提案者の小林伸彦氏から説明があった。
2. 「Force spectroscopy and tunneling spectroscopy」
提案者の新井豊子氏の代理の佐藤正英氏より説明があった。
3. 「原子分解能を持つX線・電子線ホログラフィー」
提案者の林 好一氏の代理の松井文彦氏より説明があった。

しかし、1., 2. の内容が若干似通っている点や、一部の発表予定者の内容が前々回のシンポジウムの内容と似通っているのではないかと言った質問がなされた。それぞれが明確に異なることを他領域にはっきりと説明できる準備をするか、もしくはどちらか一方に絞る必要があるのではと言った意見が出された。そのため提案者には提案内容がより鮮明となるよう再提案をしていただき、今後メールなどで議論し二つとも採択するか、どちらか一方を第一候補として順位づけするかと言った調整を行っていくということになった。

3.については主催は領域10だが、領域9としては承認された。

招待講演

1件の招待講演が提案された。

1. 日比野 浩樹 氏 (NTT基礎研)

提案者の 佐藤正英氏から説明があり、原案どおり承認された。講演のテーマは、「SiC上に成長したエピタキシャルグラフェンの構造と電子特性の表面電子顕微鏡による解析」である。

2.3 キーワード・合同セッションについて

キーワードおよび合同セッションについて、議論が行われ、合同セッション・機動的合同セッションなどについて、当日の資料に基づき議論が行われた。今回領域10との機動的セッションに於いて講演者数が少なかったにもかかわらず合同セッションが組まれたことなどについて質問があった。今後は講演者数なども考慮しながら開催することなどが確認された。

2.4 物理学会領域委員会からの提案事項について

1. 「領域世話人」という呼称を「領域運営委員」などの名称に変更してはどうかという意見について説明が有り、承認された。

2. 領域世話人の任期を学会開催実態に即して、変更してはどうかという意見について説明が有り、学会開催時期に即した任期にすることに承認が得られた。

3 その他

高エネルギー加速器研究機構、PF（フォトンファクトリー）の間瀬氏の代理で坂本一之氏（千葉大）よりPFのBL13というビームラインのオープンについて紹介が有った。有機、表面界面などの研究に利用できる低エネルギービームラインであることが説明され、多くのユーザーの利用を期待する旨説明が有った。

雑誌、表面科学の編集委員をされている吉信 淳 氏（東大物性研）より、「解説」の記事として適当な執筆者がいればぜひ提案してほしいというアナウンスがあった。